

# 体育・保健体育科のベストミックス

～「体育・保健体育科で大切にしたい学び」と「ICTの効果的な活用」～

東濃教育事務所

導入（つかむ）見通しをもつ

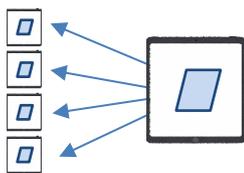
## ■目指す動きや教材との出会いを大切に

- ・示範や技の紹介、生活に関わるアンケート結果などで、「やってみたい!」「こうすればできそうだ」「もっと知りたい」を生み出す
  - ・明確な課題提示で目標と動きのイメージをつかむ
- [全体課題・チーム課題・個人課題]
- ・健康に関わる事象や情報などから自他や社会の課題を発見する

展開（やってみる）考える 深める

## ■見通し→試技→振り返りに自由度と時間を保証し、児童生徒自ら追求できる単位時間の流れを大切に

- ・追求の仕方を身に付け、自ら課題解決への見通しをもって取り組む [仲間との交流、ICTの活用、練習の場の選択・設定]
- ・習得した知識をもとに、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択したりするとともに、それらを他者に表現する



【こんな活用もできる】  
中間研究会でみんなを集めなくても教師からポイントとなる視点を与えられる

終末（振り返る）

## ■児童生徒の動きの変容・高まりを価値付ける

- ・価値ある具体を全体に伝え、コツと追求方法を広める [できたこと、できそうなこと、追求の様子、勝敗、記録]
- ・自己の動きの変容や高まり、本時の学びを振り返り、次の個人課題を明確にしたり、次の学びへの意欲を高めたりする

「手軽に・短時間で・繰り返し活用」かつ  
「運動量が損なわれない配慮」が必要

模範となる動きを画像で確かめ、技能ポイントや動きのイメージをつかむ



動画視聴による課題発見、児童生徒の学習に対する興味・関心を高める

例)「傷害の防止」の単元において、地震発生時のビデオ教材などを視聴し、家屋の倒壊、家具の落下、転倒などの危険や津波、土砂崩れ、地割れ、火災などの二次災害などについて視覚的に捉え実感をもたせる

## アンケート機能の活用により意見を効率的に可視化する

- ・学習者用コンピュータなどのアンケート機能を活用して、個々の意見をすぐに集約し全員にフィードバック
- ・クラス全体の考え方を即座に把握できることにより、児童生徒が新たな考えを導き出したり、理由を考えたりすることで課題意識や興味・関心を高める

## 動きを撮影した画像を基に、グループでの話し合いを活性化させる

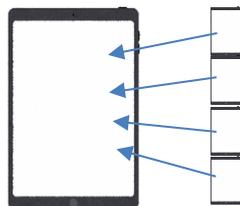


球技のゲームや武道の試合、ダンスの発表などを撮影し、グループでの活動、個人の動きや相手との攻防、仲間との連携などを画像で振り返ることにより、仲間の動きを指摘し合ったり、新たな動き方などを話し合ったりするなど、自己の考えを表現するための材料とすることが期待できる

### 【この使い方は注意】

自己の動きをタブレット型の学習者用コンピュータにより撮影し、その場で映像を確認することで、技能における自己の課題を明確に把握できる。また、課題を解決する方法を思考、判断し、選択する際の参考とすることが期待できる。一方で「繰り返し活用」することで運動量が損なわれることがある。

## 学習の成果を確認し、評価の資料とする



配付・提出機能で児童生徒一人一人の振り返りをその場で可視化

教師は児童生徒一人一人の課題を確認し、次時の学習課題を設定するための資料とすることが期待できる



## 指導改善や多角的な評価のための資料とする



記録した画像を、時系列や学習課題ごとに整理し、児童生徒の学習の過程を振り返ることにより、指導改善や多角的な評価のための資料とすることが期待できる